



RRC 2025 総合馬術競技実施要項

2025.7.17

参加者用

公益社団法人 全国乗馬倶楽部振興協会

『RRC』とは、Retired Racehorse Cup の略であり、引退競走馬杯と名付けた競技である。競走馬登録されていたサラブレッドが引退し、リトレーニング後に乗用馬として用途変更した際、以下の条件を満たしている場合に出場できる馬術競技である。

目的： 引退競走馬のセカンドキャリアとして、乗馬・馬術競技は従来から最も活躍してきた場であり、その競技で好成績を収めた引退競走馬を表彰することにより、国民に馴染み深い競走馬の引退後の活躍を広く紹介するとともに、乗馬、馬術の魅力を発信し乗馬のさらなる認知、乗馬人口の増大に繋げる。また、本協会の本来の目的である、乗馬普及・底辺拡大をさらに推進すべく、大人しくて乗りやすい乗用馬資源の創生を目標とし、引退競走馬のリトレーニング技術の向上と馬に関わる人材育成のために「奨励金」等を交付する。

なお、引退競走馬たちがセカンドキャリアに進むことに際しては、馬のウェルフェア（FEI馬のスポーツ憲章など）に十分配慮し、馬体のケアやリトレーニングのために適正な期間を設けるなど、乗馬・馬術関係者のホースマンとしての基本姿勢を守ることを通じて、その未来と可能性を示すことを目指した場であることを理解し、共有しなければならないものとする。

以上、引退競走馬のセカンドキャリア形成の第一歩が、本事業を通じて直接的に乗馬・馬術への入り口として定着することを目的として実施する。

1. 競技大会及び競技種目

令和7年に開催される馬術競技大会の中で競走馬のみで構成される以下の総合馬術競技を「RRC」（「Retired Racehorse Cup」の略（引退競走馬杯））競技とする。

下記のとおり、各4大会を予選競技として各大会のSS賞（サティスファクトリースタンド）獲得馬にRRC FINALの出場権を与え、決勝競技を行う。（RRC FINALの出場権は馬の権利とし、騎乗者の変更は可）

競技の実施に際しては、日本馬術連盟（以下「JEF」という）競技会関連規程集（最新版）を準用する。

原則として2daysとするがRRC FINALはその限りではない。

〈馬場馬術競技〉

全国乗馬倶楽部振興協会 制定「NRCA 総合馬術課目 2023（別添）」を採用し、審判員は3名とする。演技中の鞭の携行は不可。

《障害馬術競技》

85cm クラス

10 障害 11 飛越、分速 350m、高さ 85cm、幅 100cm（三段障害は 120cm）とする。
障害物のプランク等の使用は、全障害物数の 50%までとする。

※競技ルールは、競技進行上、変更する場合もある。

《クロスカントリー競技》

全長 1500-1800m 以内、障害飛越数 14～20 個、分速 420m、早着減点有

※規程タイムより 20 秒以上早着した場合は、1 秒につき 0.4 点の減点

高さ：固定障害 65cm 以内、ブラシ障害 85cm 以内、飛び降り 80cm 以内

幅：最高部 95cm 以内、土台 100cm 以内、高さのない障害 110cm 以内

《インスペクション》

FEI ルールに則り、馬場馬術競技開始前 24h 以内にホースインスペクションの実施を必須とし、クロスカントリー走行終了後、騎乗での獣医検査を以て、最終成績を決定する。

2. 開催会場及び日程

一覧表参照

3. 出場馬の条件

公益財団法人ジャパン・スタッドブック・インターナショナルに血統登録(内国産、外国産を問わず)され、中央競馬、地方競馬の競走馬として、最後に出走したレースが令和 4 (2022) 年 1 月 1 日以降の出走歴を持つ 3 歳以上の馬とする。ただし「出走取消(競走除外)」はこの出走歴には含まない。また、競馬に未出走の馬は、年齢が 3 歳以上 7 歳以下とし、年齢は馬年齢(1 月 1 日)を適応、マイクロチップ等を用いた個体識別を行うこととする。

なお、各大会とも 1 種目に 1 頭の馬が複数回出場することはできない。また、一般観戦者等に競技について、理解しやすくするためのオープン参加(表彰対象外の出場)は認められない。

※この出場資格に直ちに該当しない引退競走馬(海外競馬の競走馬など)の RRC 出場資格については、その都度、本事業の事業推進委員会(WEB 方式又は書面確認等)において、本事業の目的を踏まえ、その適否を判断することとする。

【各大会 1 位・2 位の馬の参加条件・総合馬術競技】

同年の RRC 総合馬術競技で 1 位、2 位に入賞した馬匹は、他(複数)の同競技に出場する場合は奨励金対象からは除外し、SS 賞のみ対象とする。

ただし、他の競技(RRC 馬場馬術競技・RRC 障害馬術競技・RRC FINAL)は表彰対象とする。

4. 出場者

- ① 以下の資格又は同等の技量を有する者とし、安全には十分留意して、参加団体及び馬の所有者（出場申込用紙に記入）が推薦する者。
 - ・本協会 乗馬指導者資格／乗馬技能認定1級
 - ・JEF 騎乗者資格 B 級以上
 - ・全日本学生馬術連盟騎乗者資格 SA 級
 - ・全日本高等学校馬術連盟騎乗者資格 HB 級
 - ・日本社会人団体馬術連盟騎乗者資格 A グレード
 - ・日本乗馬少年団連盟 騎乗者資格中級以上
- ② 申し込みと同時に選手及び出場馬は、肖像権の使用に同意したものとみなす。
- ③ 1人が複数頭に騎乗し出場できるのは3頭までとする。

5. 出場料

1回 **¥20,000** を各主催者に支払うこと。（馬匹登録料等は各主催者の実施要項に基づく）

6. 奨励金

奨励金は、申請用紙受理後、本協会から大会主催者の指定口座に振り込む。

《予選競技》

- ・総額 110 万円（優勝 40 万、2 位 20 万、3 位 15 万、4 位 8 万、5 位 7 万、6 位 6 万、7 位 5 万、8 位 4 万、9 位 3 万、10 位 2 万）
 - ※ただし交付対象は 3 種目を完走した人馬のみとする。
- ・馬場馬術 62.000%以上、クロスカントリー 障害減点 0 で規定タイム前後 20 秒以内、障害馬術タイム減点 0 障害減点 4 以内で走行した人馬に SS 賞 8 万円
- ・地方競馬全国協会賞（1 位から 3 位に競技場開催地域の銘柄牛）

《RRC FINAL》

- ・総額 200 万円
（優勝 100 万円、2 位 40 万円、3 位 30 万円、4 位 20 万円、5 位 10 万円）
 - ※ただし交付対象は 3 種目を完走した人馬のみとする。
- ・馬場馬術 65.000%以上、クロスカントリー 総減点 0、障害馬術 総減点 0 で走行した人馬に SS 賞 8 万円
- ・地方競馬全国協会賞（1 位から 3 位に競技場開催地域の銘柄牛）
- ・予算の範囲内で輸送費補助を支出する。

7. 表彰

- 1 位から 10 位までを入賞とし、大会主催者より各奨励金を交付する。
※ただし表彰対象は 3 種目を完走した人馬のみとする。

1位から3位までにリボン（タスキ）および地方競馬全国協会賞を授与する。

また、SS賞を贈る。

表彰式は人馬による表彰式を行う（推奨）。

8. 申し込み等

別に定める「RRC（引退競走馬杯）出場申込用紙」と各主催者の実施要項に基づいて必要な書類を指定された期日までに大会主催者へ提出すること。

9. その他

- ① 競技会を撮影した動画、画像をホームページ等で放映する。
- ② 競技開始前までにマイクロチップ等を利用して馬の個体識別を行うので、必ずマイクロチップ番号（馬の健康手帳の表紙の裏に記載されている）を申込時に記載すること。
- ③ 奨励金とSS賞の交付及びリボン（タスキ）の授与は、各大会主催者から、該当馬の所有者に対して交付する。
- ④ 競技終了後に出場馬の要件を満たしていないこと等が判明した場合は、奨励金等を返納し、以下順位を繰り上げて表彰する。
- ⑤ 競技開催日の5日前に本協会のホームページ上で出場順を公式発表する。それ以降は、医師の診断書がある場合のみ乗り手の変更を可とする。馬の変更、追加は一切受け付けない（棄権のみ）。
- ⑥ JEF規定同様、野外障害飛越練習時もボディプロテクターの着用を義務付ける
- ⑦ 人馬のスピード感覚養成のためミニッツポイント（1分ごとの到達地点）を必ず明示する。
- ⑧ クロスカントリーコース内に立ち入り、野外障害物を飛越できる時間帯を設ける（ただし番号札がついていないもののみとする）それ以外の時間に競技で使用する障害物を飛越した場合は失権とする。
- ⑨ この奨励金は、JRA日本中央競馬会の競馬振興特別助成金等により実施する。

RRC 2025 実施予定

《総合馬術競技》

No	開催日	大会名	会場	競技会名
1	4月12日(土)～13日(日)	茨城	中島トニアシュタール	NTS馬術大会 春
2	8月15日(金)～16日(土)	山梨	山梨県馬術競技場	サマーホースショー
3	9月20日(土)～21日(日)	兵庫	三木ホースランドパーク	イベントィングフェスティバル MIKI2025
4	10月25日(土)～26日(日)	福島	南相馬市馬事公苑	東北イベントィングホースショー2025
F	11月21日(金)～23日(日)	FINAL	三木ホースランドパーク	RRC FINAL 総合馬術

※上記日程及び会場は、変更する場合があります。